

「高山駅にストリートピアノを」 「LOVE ME!」ピアノプロジェクト始動!

まちスポ飛騨高山

高山駅にストリートピアノを置きたい!なんとしても置きたい!とご連絡をいただいたのが、2024年4月のことでした。高山駅にピアノを置くことは、これまで多くの方が計画してきましたが、複雑なルールと条件に阻まれてこれまで実現した事例はありません。そんな状況をお話してもなお「私は実現したい!!」と真っ直ぐに訴えてきたのが代表の伏見さんです。当時は団体もなかったため、0から仲間を集めて、翌月5月に団体を発足し、市役所やJR、協会、警察など関係各所との調整の毎日。設置スケジュールもこの日を逃したら他はないという日程に設定し、交渉を重ねました。

「ピアノを通して市民と観光客の交流の機会をつくり、すべての人が国境・性別・世代を超えて音楽を楽しみ、音楽を愛する人達の拠り所となる場をつくりたい!」そんな溢れ出す想いを「伝わる言葉」として彼女が紡ぎ出せるようになるまで時間はかかりませんでした。一回一回の打合せの準備

を丁寧に行い、限られた時間で精一杯対話してきた事が実を結び、2024年10月14日～11月24日の期間限定設置が決まりました。

設置ギリギリまで各所との調整を行いながら、せっかく置けなら飛騨高山を象徴する唯一無二のピアノをつくりたいと、少しの妥協もなく飛騨の匠の技が散りばめられたピアノがお披露目の日を迎えました。市民や観光客が交流している様子を見られた喜びはひとしおだったと思います。立ち上げ・事業伴走を通して、言葉を尽くす大切さを彼女の姿から感じました。今後の活動も見守っていきます。



▲期間限定で設置されたストリートピアノ「飛騨六花」



▲代表の伏見さん

詳細はこちらのHPから



まちスポの窓



人生初!
格闘技の観戦しました!
倉本



もこもこの手袋で
寒さ対策バッチリです
加藤



初めての陶芸体験。
マグカップがペン立てに
なりませんように
板屋

最新の情報はこちら
ホームページ更新中
http://machispo.org



さるぼぼコイン
クレジットでの
賛助会員入会が
可能になりました!
詳しくはこちらをご覧ください!



活動を応援して下さる方を募集しています。
個人年会費 1口 ¥3,000
法人年会費 1口 ¥5,000

納入先
郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット
飛騨信用組合 松泰寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット
高山信用金庫 駅西支店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット

2024年11月15日発行(通巻129) 発行:認定NPO法人 まちづくりスポット
■まちスポ飛騨高山 〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8 フレスポ飛騨高山内
TEL 0577-62-8550 FAX 0577-62-8580 info@machispo.org
事務局休館日:毎週火曜(火曜祝日の場合は水曜日)・年末年始

発行者:森内 潤一・長瀬 達三 編集:板屋 亜希恵
■まちスポとやま 〒930-0083 富山市総曲輪4-4-3 総曲輪レガートスクエア内
TEL 076-461-3332 FAX 076-461-3359 toyama@machispo.org
事務局休館日:不定休・年末年始

毎月の事業報告!
2024.11.15 November

会報 Machispo Vol. 129

紅葉が長く楽しめそう

Since 2012.3.4



フレスポ飛騨高山12周年祭企画 ハロウィン感謝祭

まちスポ飛騨高山



フレスポ12周年祭企画として、今年もハロウィン感謝祭を開催しました。

まちスポでは、フレスポ飛騨高山に入っている店舗のクイズに答えて、お菓子をプレゼントする企画を実施しました。「まちスポは何の略でしょうか?」などのクイズに、子どもたちは頭を悩ませながら挑戦していました。

また、フレスポ飛騨高山の店舗でお買い物をいただいた方には、(特非)クレヨン・ひだの皆さん特製の力



ごもプレゼントしました。お菓子をカゴに詰めて、クイズをはしごする子どもたちの姿がとてもかわいらしかったです。

ハロウィンらしくキュートなコスプレをして参加してくれる子どもたちもおり、フレスポ飛騨高山でのお買い物が一層楽しいものとなりました。



開催日:2024年10月26日(土)・27日(日)
会場:フレスポ飛騨高山
参加人数:429人
主催:認定NPO法人まちづくりスポット

令和6年度 キリン・地域のちから応援事業 第4回 八尾コース 開催報告 ブラとやま～国際交流ウォーキング～

まちスポとやま

おわら風の盆で有名な八尾町で、2024年度第4回ブラとやまを開催。今回は国際交流編ということで、富山国際学院の学生24名が参加しました。同じ富山市内でも富山駅前と風景の違う八尾の町並みを歩いて、母国と比較をしていたり、似ているところを発見して歩いていました。途中で、地元の方から柿をもらったり、畑の人と話をしたり、休憩で立ち寄った八尾行政サービスセンターでは非接触型モーショントレーニングツール「TANO」で体を動かすゲームを皆で楽しみました。12月には日本語試験を控えているということで勉強を頑張る学生達には束の間のリフレッシュにもなったようです。



開催日:2024年10月18日(金)13:00～15:00
場所:八尾町周辺コース(越中八尾駅周辺エリア)
参加者:36人
主催:認定NPO法人まちづくりスポット

※この活動は令和6年度「キリン・地域のちから応援事業」の助成を受け実施しています



おはなしネット
・ことだま

たきね ちえこ
瀧根 智恵子さん

いっしょにばいばい
絵本で笑顔

幅広い年齢層・多様なスタッフとともに飛騨地域で年間200か所でのおはなし会を開催している瀧根さん。イベントを通じて、絵本の魅力を子どもから大人までたくさんの人に伝えています。

歴史のある
読み聞かせ団体

元々学校図書館の先生を務めていた瀧根さんは、設立されたばかりの読み聞かせのボランティア団体「おはなしネット・ことだま」に参加しました。現在、団体スタッフ33名の中には上宝や朝日地域の方もおり、年齢層も30代から80代まで幅広いのが特徴です。団体として年間200か所で活動しています。

おはなしネット・ことだまは平成18年に設立された団体で、瀧根さんは約20年に渡り読み聞かせの活動をしています。また、活動をしていく中で、初代からのバトンを受け継ぎ2代目の団体代表として高山市を中心に飛騨地域全体で活躍しています。

定期的で開催されるおはなし会としては、高山市図書館での読み聞かせや、こども政策課との協力によるブックスタートなど、活動は多岐にわたります。最近では、小学校や保育園をはじめ、介護施設での読み聞かせも復活し、様々な世代の方々に絵本の楽しさを伝えています。

多様なスタッフを活かした
選書とスキルアップ

「どのような絵本を読み聞かせに使うかはとても頭を悩ませるところ」と話す瀧根さん。スタッフ内で月に1回の勉強会を開き、絵本に関する情報交

換やスキルアップは欠かさないそうです。

勉強会ではスタッフがそれぞれオススメの絵本を持ち寄り紹介します。多くのスタッフが参加しますが、選んだ絵本がかぶるということはなく、情報交換をしながら、新しい本を見つける努力を続けています。また、発声方法や読み聞かせの技術を学ぶためにアナウンサーや演劇経験者を招いてスキルアップを図っています。

絵本と言葉の魅力

絵本というと、どうしても子どもが対象と考えられていますが、一緒に読んで大人も楽しめるということを知ってもらいたいですね。小さいときに自分が読んでもらっていた絵本を大人になってから自分が子どもに読み聞かせをすると印象が変わって驚くこともあります。子どもの頃には理解できず気が付かなかった言葉も理解できるようになっていて、物語をより深く理解することができます。

絵本はテレビや動画のように一方的に流れてしまうものではないので、1ページ1ページめくる瞬間に子どもたちの想像力に合わせてめくるという子どもたちの気持ちを大事にできるツールなのです。もちろん読み手は先の展開を理解していないといけませんので、事前にしっかり読みこんで言葉を大切に本番に挑みます。

(スタッフ加藤 英之)

Information



おはなしネット・ことだま
おはなし会の案内など
詳しくはこちら▶
Instagram



@OHANASINETTO.KOTODAMA



多世代交流イベント@八尾
ワクワク体験会・交流会

健康づくり拠点事業では、10月28日に八尾行政サービスセンターにて多世代交流イベント「ワクワク体験・交流会」を開催しました。

これから富山市健康づくり拠点事業に講師として参加予定の姿勢ケアとやま、里山合気会、スマホお茶会の皆さんがそれぞれミニ講座を開催、その他「糸掛け曼茶羅」、「あなたの人生に奇跡が起きる? 丹田(たんでん)」の使い方体験講座といったバリエーション豊かな交流体験会となりました。

ふらっと立ち寄れる気軽さもよかったです。参加された方からは、「ちょっと気になるけど」、「参加する前に少しどんな感じかも気になっていた」の声も聞くことができました。今後の参加

の後押しになったと思います。平日ではありましたが、多くの方にご来場いただき、今年度八尾行政サービスセンターに導入があった非接触・非装着型モーショントレーニングツールを使った「たのしい! TANO体験」も好評でした。

日時:2024年10月28日(金)10:00~12:00
会場:八尾行政サービスセンター
参加者:のべ31名



10月の健康づくり拠点事業では、拠点(大沢野地域、八尾地域)で生かすがいづくり講座各4回、多世代交流イベントを各1回開催いたしました。今回は、開催したプログラムをピックアップしてご紹介します。今後の事業の予定については、まちスポとやまHPをご確認ください。Facebook、Instagramでも開催報告を行っております。



講座の詳細は
◀こちらから

10月開催
Pick Up

お話と歌を聴いて楽しいお茶会 + 傾聴
@大沢野健康福祉センター ウィンディ

東日本大震災にちなんだ絵本を音楽に合わせて読み聞かせを楽しみました。いろいろと思いを馳せるテーマでしたが、絵本を読み終えた後、参加者一人一人に思い出や感想を聞いて、皆いろいろな思いをじっくりと話すことができ、温かい傾聴の会になりました。後半は秋の名曲を皆さんで歌いました。ちょうど赤とんぼが飛んでいるよい秋晴れでし

たので、気持ちよく楽しく過ごせたと思います。

日時:2024年10月25日(金) 参加者:計10名
会場:大沢野健康福祉センター ウィンディ



骨髄バンクブースの応援に行ってきました



骨髄バンク事業は(公財)日本骨髄バンクが主体となり、骨髄移植・末梢血幹細胞移植に必要な骨髄液を提供いただける方をドナーとして事前に登録し、移植希望者に提供する制度です(岐阜県HP「骨髄バンク登録」より)。ドナー募集はもちろんですが、骨髄ドナー登録説明員も募っています。昨年のスキマ研究会で「骨髄バンク」に参加後、骨髄ドナー登録説明員に加盟した市民もあり、「骨髄バンク」という言葉は知っているものの、実態がよくわからないという人が多くいらっしゃるように思います。

今回はプロバスケットボールリーグに所属する「岐阜スーパース」が高山市で試合をするにあたって、骨髄バンクの啓発ブースを設置できることになり、その応援に伺いまし

た。移植を待っている人がいる一方で、ドナーには年齢制限があり登録者は急速に減っています。登録増加の第一歩として内容を十分に理解してもらえらる機会をつくっていくことが必要です。ぜひブースを見つけたら、どんな活動をしているのか聞いてみてください。

